

# 山名一族会報

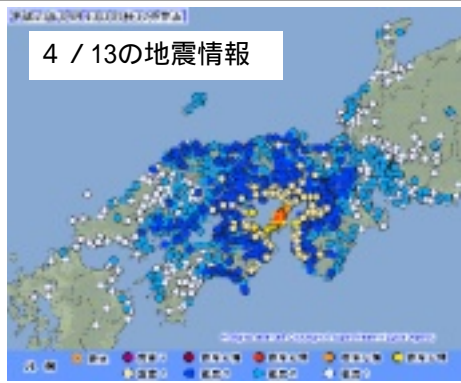
全国  
山名氏一族会  
667-1311  
兵庫県美方郡  
香美町村岡区  
村岡2365

## 25年理事会を開催

去る4月13日、宮田靖國副会長のお世話で、芦屋市・ホテル竹園を会場とし、平成25年度の理事会を開催し、本年度の活動諸課題に付き、協議を行いました。

理事会開催の4月13日、午前5時半。普段聞きなれない携帯電話のけたたましいアラーム音、「目覚ましの時間設定を間違えた？」と、遠くから近寄ってくる地鳴りと遅れて到達した揺れに、南海地震の発生かと思いい目を

覚まされました。テレビからの情報では、近畿地方を中心とした地震で時間がたつほどに理事会を予定していた阪神間の震度発表が密になってきます。幸いにも地震の中心は淡路島中部、周辺地域には危険を予感させるような大きな被害は発生していないようで一安心では有りました。



4 / 13の地震情報



理事会休憩での一コマ

それでも、阪神間の交通状況の混乱は予想されるところなので、早めにJRの駅に出向いてみると京阪神向けのJR在来線は全面運休・・・でも、時間が経過すれば通常運転に戻れることを期待しながら、会場に自動車で行った次第です。

会場前のJR芦屋駅に向かってみると、10時半から運行を再開したところ。阪急等の私鉄も既に運行を開始されている状況とのこと・・・やがて、参加予定者各位から近隣まで来ている旨の連絡が入り、11時半には大方の方が交通状態混乱の中会場に到着され、理事会開催の運びとなりました。

大変に、交通状況が混乱・混雑をする中、参加予定者15名の皆様が全員ご参集頂きました。各理事様のご熱誠には心より感謝敬服申し上げます。

### 宮田氏（氏清公直系）

本貫・丹波國宮田莊（現・篠山市西紀町宮田）。宮田家の濫觴を訪ねれば、それは、「明德記」にある。他の軍記物と異なり、奥書に著者は、内野の戦いのわずか4年後、応永三年五月に上梓した、と書き記している。その明德記に曰く、「山名陸奥守、子息宮田左馬助時清、次男七郎満氏に向て宣けるは、云々と。又、「応永記」には、「去程に山名陸奥守の嫡子宮田も其の時を得たりと、云々とあり、宮田時清が山名氏清の嫡男であることは自明の理である。「新統古今集」巻十にある、源時清の和歌「こえくらす山わけ衣さらでだにほさぬ袂にふる時雨かな」は応永の乱後かもしれないが、明德の乱後の方がふさわしい。

さて、何故、山名氏清の嫡子が宮田なのか。それには、「大日本史料」によれば、「近衛家文書」の中に、四代將軍義持が山名調心に丹波國宮田莊を宛行した、と記している。曰く、  
丹波國宮田莊事、為大和國宇陀郡之替、且所宛行山名左近大夫將監入道調心也。然者早守先例、可致其沙汰之状如件、  
応永十六年九月五日」  
故に、看聞御記（伏見宮貞成親王（後崇光院）の日記）の応永二十八年四月三十日の条にある、「聞、山名宮田今日死」とあるのは、宮田左近大夫將監時清の事だと考えます。



宮田氏定紋

- 山名義範 義行 重國 重村 義長 義俊 政氏
- 時氏 氏清 宮田時清（左近大夫將監） 時廣 教村
- 豊盛 豊武 豊時 豊幸 豊清 豊頼 豊氏 豊興
- 豊房 豊芳 豊明 豊高 豊慶 豊光 豊健 慶太郎
- 健資 靖國（清和天皇三十八代の後裔）

# 平成25年理事会議事

## 日程

- \* 出席15名(委任6名)  
(午前11時半)15時過  
開会(挨拶(副総裁)  
議長の選任(理事長)  
報告事項・議事  
閉会の言葉  
委嘱状の伝達(副総裁)

## 報告事項・議事

- 1、会員の登録状況報告  
\* 会員数が36家に到達  
\* H25年度は会員数50家以上を目指し活動を展開する。

- 2、会計状況の報告  
\* H24年総会での残金¥80,430円は通常会計へ繰入。  
\* H24年総会での残金と入会金・年会費納入で、H25/3末で35万程度の金額。  
\* 山名会会則では会計期間を定めて居ないが、当面、総会(次回総会間)で会計を処理して行きたい。

- 3、山名会会章作成の件  
\* 本体(3万円) + 固定費(送料)(3万円) 7万円弱の見積もり  
\* 15ミリサイズで、立体の形(控え目な彩色・「いぶし銀主体」)を選択。  
\* メーカーと相談したところ、デザイン上の制約(中央桐紋彩色)により「いぶし銀主体」加工は難しい・・・彩色したタ イプをサンプル作成依頼

- 4、山名会機関誌発行の件  
\* 総会配布を目的に機関誌を発行。  
\* 200部、12万弱の経費  
\* 歴史専門的内容、山名会への期待、各山名家の言伝え伝承・・・個人的な雑感まで幅広く、自由に寄稿頂きたい。  
\* 8月末締め切り。  
\* 会員配布以外に山名縁故地の図書館等寄贈を行う。  
\* 山名年浩会長監修の「源氏諸流系図」等も掲載し、

- 5、常任理事の選任  
\* 役員推薦「草山 宏」理事(関東地区)の承認。  
\* 山名副総裁より、「山名大介氏」(中部地区)・「山名靖英氏」(関西地区)の推薦有り。草山氏含め常任理事3名の体制で臨む。

- 6、H25年度総会について  
\* 開催時期：平成25年10月12(13日)(泊2日)実施  
\* 開催場所：但馬方面 出石・竹田を中心に  
\* 開催テーマ：「山名氏の本拠地・但馬を巡る」(仮)  
\* 参加会費：3万円  
\* コース案：3ページ表参照  
\* 宿泊・総会会場：出石グランドホテル  
\* 案内発送：H25年7月頃、締切9月中旬  
\* 歴史講演：山名特別展「The 山名」企画学芸員(鳥取歴史博物館学芸員に依頼)  
\* 開催地(豊岡・朝来)市

出来れば一枚もの別刷り付録も考える。

長及び、史跡保存会関係団体に来賓招待を、案内する。

## その他、意見交換

- \* 2日目竹田城では、「慰霊法要参加」・「竹田城登城」の選択が出来るように計画  
\* 「歴史講演」への一般参加受入、「慰霊法要」は赤松氏と共同開催呼びかけ。
- \* 「山名家譜」の公開。  
\* 山名氏に対するイメージ刷新・理解増進のため、宮田先生のご労作「山名家譜」の内容を山名会ホームページ上で掲載させて頂きたい。  
\* 山名副総裁から許可を頂く。  
\* 今後、順次掲載を進める。

山名氏関係の文庫設立(山名会長ご発案)

山名会各家に所蔵されている山名・日本中世史関係の蔵書をご寄贈頂き、山名史料館内に「山名文庫」(仮)を作つては?

山名関連図書の大半が閲覧できる「山名文庫」となれば、今後の山名研究の助けになるのではないか。

会員数拡大の方策  
\* 先ずは、事務局と共に事業準備を手伝って貰える人員確保が急務。事務局では地元但馬での会員数増に向け準備を進める。

但馬山名後裔の方の相談役就任要請。  
\* 但馬山名直系の流れを受け継ぐ方々(静岡・東京)に山名会相談役として参画して頂くよう、理事会の総意を以てお願いをする。

会員名簿等について  
\* 現在の登録会員を掲載した会員名簿を会員に配布する。  
\* 元会員(旧山名会)及び、会員候補(連絡希望者)の名簿を常任理事(関東・中部・関西)に託し、会員登録の働き掛けのご協力を願う。

# H25総会は但馬で

平成25年度の総会の概要が決定いたしました。

今回は、「山名の本貫但馬を巡る」(仮)と題して、最盛期の山名氏が本拠を据えた出石、そして山名氏・赤松氏の間で運命を流転した竹田城周辺を主会場として巡る計画を作成中です。

具体的には後日、会員各位へご案内を差し上げますが、概要は左記の如くです。期日・H25年10月12〜13日会場・但馬出石・竹田周辺 宿舎・出石グランドH 会費・1名、3万円  
また、総会中の歴史講演は「特別展企画から見た山



出石・「辰鼓楼」周辺

竹田城天守跡からの眺め



名観」(仮題)と言った趣旨で、昨年7月鳥取歴史博物館で「山名氏特別展」を企画担当された、学芸員の石井氏に、資料収集の過程から垣間見えた山名像を率直に語って頂こうと考えて居ります。

最近、八重の桜効果で、川崎尚之助(八重の最初の夫)の生誕の地「出石」、竹田城も「天空の城」と脚光を浴びて居ります。出石では宗鏡寺(氏清公開基・沢庵寺)及び、尚之助縁の願成寺を訪れ、2日目の竹田城では、「山名・赤松両陣供養法要」又は「竹田城

登城」を選択できるような日程を考えて居ります。

どうか、会員の皆様には、秋10月の「全国山名氏一族会総会」に日程を合わせて頂き、ご参加お願い致します。

尚、総会行事の中で、

\* 歴史講演

\* 山名・赤松両陣供養法要  
に付きましては、山名会の存在について広く知って頂くことを念頭に、「一般参加」や「赤松関係者」へ



竹田城の山名赤松供養塔

のご案内を考えて居ります。その旨どうかご理解宜しくお願い致します。

(宿舎に予定しております出石グランドホテル

## H25年度総会日程(案)

第1日目(10/12・土)	
時間	予定
送迎バスでJR八鹿出迎え	
13:00	総会会場で受付開始(宿舎で)
13:30	年次総会開催
14:30	講演:「特別展企画から見た山名像」(仮題)
16:00	出石城周辺散策。宗鏡寺・願成寺・辰鼓楼周辺
18:30	懇親会

- JR利用者の方、JR八鹿駅までホテル送迎バスで出迎え。
- 宿舎内で年次総会&講演を実施。
- 出石城散策の際、辰鼓楼周辺まで送迎手伝い願いたい。

第2日目(10/13・日)	
時間	予定
8:30	此隔山・出石神社・総持寺(の何れか)
9:30	竹田城に向かう
10:30	「山城の郷」着。赤松側参加者と合流。中腹駐車場へ移動。(一方通行)自家用の方もバスに乗換?
11:00	中腹駐車場脇の供養塔で慰霊法要。希望者は法要中に竹田城登城。
12:00	「山城の郷」へ戻る。
12:30	「山城の郷」にて昼食。
13:30	現地解散。バス→和田山駅送り

- 2日目に移動は貸切バスを使用。
- 竹田城での移動はマイクロバス乗換?
- 自家用車はバスの後を追従し、竹田城駐車場で駐車。
- 山上での移動はマイクロバス同乗。
- 慰霊法要でテント・イスの別手配が必要。
- 竹田城登城のガイド手配も必要?



総会宿泊「出石グランドH」

ルは、ツイン中心の間取りとなっておりますので、お連れご同伴を願いましたら幸いです。(